

## 創刊号に寄せて

SME 東京支部長 森 雅彦



SME 東京支部は今年で創立 50 周年になります。その支部創設時にメンバーだった方々の大半は既に引退されており、当時のことを知っている方は少なくなっています。

50 年前と言えば、日本の工作機械とそれを使った製造技術は、まだ発展途上段階にあり、今日のような世界一を誇る時代とは大変違っていました。しかし、当時の生産加工技術者の熱意は文字通り発展の意気に燃えて、その向上に邁進していました。そのおかげで、30 年ほど前から日本の工作機械の生産額は世界一となり、その利用技術も世界に冠たるものになりました。

しかし、残念ながら以上のような事実を世界の中で知っている人は意外に少ないのです。ヨーロッパでもドイツ製の工作機械が世界一だと思っている人が大半です。

これは何が原因しているのでしょうか。私はその主な原因の 1 つは日本発の情報の発信量が少ないことにあると思います。日本語と言う言葉の問題もあるでしょうが、日本のメーカーの情報発信量自体の少なさもあると思います。以心伝心では世界には通用しないのです。

また、日本の学会誌は外国人から“Pure Scientific Paper”と呼ばれているように、学術的な面に特化しており、生産加工技術として興味ある研究は極めて僅かしか掲載されておらず、工業的な面からは彼らの興味を引かないという問題もあります。

そこで、今回支部長を引き受けたのを機会に日本発の生産加工技術に関する情報を世界に向けて発信する Journal of SME Japan を発刊してはどうかと提案したところ、東京支部会員の皆様の賛同を得て、ここにその創刊号を送り出すことができました。今後皆様のご協力を得て、この Journal を日本発の生産加工技術を世界へ向けて発信する手段として活用していただき、SME 東京支部の魅力をさらに高めていきたいと考えております。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしております。